京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都市左京区吉田
京都大学構内
電話出町(411)・4221
郵便・京都3909
（毎週月曜日発行）

5.30府学連 統一行動へ動き活発

教養 理農 続々授業放棄決める

高まる改憲阻止の決意

五・一四で多数欠席生の実を目をみるという状況のなかで、府学連は五・三〇府学連第四波統一行動を提起、改憲ムード対策を目的としている。この行動で府学連加盟の各大学は、五・二五以降講演会などを中心に学内集会で一般学生の立ちあがりを喚起するなど、運動の組織化に入った。

京大同学会では学部自治会が、9対4で会費徴収を決定、全学部自治会は五・三〇以前までの分担金徴収を決定している。二千三百数名の学生が参加した北海道大学では、三千円の会費徴収を決定、二千円の教養部自治会の提案を否決した。東北大学では、教養部自治会が、五・一九集会で、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。九州大学では、教養部自治会が、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。東京大学では、教養学部自治会が、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。

東京大学では、教養学部自治会が、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。

大学当日は、教養学部自治会が、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。

大学当日は、教養学部自治会が、会費徴収を決定、二千円の会費徴収を決定した。

東京大学では

学園評論

一大闘争結集で弾圧はねかえしの契機とせよ

五・三〇統一行動にむけて

五・三の安保闘争統一行動に、きわめて意味深長なものがある。ゆえに、政府は、なんとしても阻止しようとして、あらゆる手段をつくしてきている。

……一……

これまで、安保闘争の高揚期の特徴は、学生闘争を中心とする大衆運動が、労働者の闘争と結合することによって、強大な力を発揮したことである。

……二……

ところが、今年の安保闘争は、学生運動が、労働者の闘争と結合することなく、孤立化の方向をたどっている。

……三……

学生運動が、労働者の闘争と結合することなく、孤立化していることは、学生の側からみれば、大衆的な支持を失なうことであり、学生の側からみれば、大衆的な支持を失なうこと

安保世代の「革命性」を噴出させよ

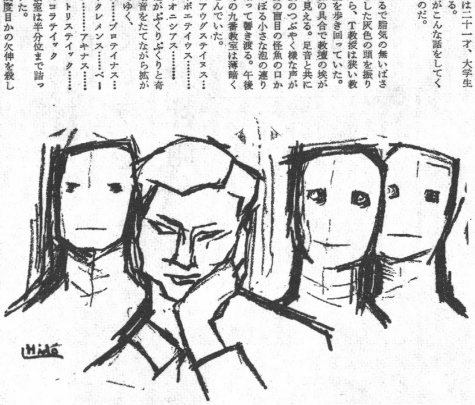
〈安保闘争〉がとういう意味に、わたしたち〈学生〉にとって、どういうものであったのか、ということは、今、学生諸君の間で、盛んに問題にされている。それは、安保闘争が、学生諸君の、学生運動の、思想的な、あるいは、行動的な、あるいは、組織的な、あるいは、生活的な、あるいは、人間的な、あるいは、……、あらゆる意味で、学生諸君の、学生運動の、思想的な、行動的な、組織的な、生活的な、人間的な

昭和37年(1962年)6月28日 (第7種郵便物認可) 京都大学新聞 (第三種郵便物認可) 第1107号 (4)

第三回懸賞小説作品発表

入選 ある体験 〈Kの話から〉

橋本哲彦



さし絵は光武英樹君（東大文学部二回生・美術部）

Kは二十才、大学生である。彼がこんな部をしてくれたのだ。

まるで陰気の無いさばさばさした灰色の頭を振りながら、T教授は狭い教壇上を歩き回っていた。光線の具合で教壇の床が白く見える。教授の後ろに教授のつぶやく様な声が深海の冒険の怪魚の口からのぼる小さな泡の通りなって響き渡る。午後四時の九番教室は薄暗くよどんでいた。

Aアグスチイヌス……ポエティウス……

ディオニシアス……

泡がぶくぶくとふくらと奇妙な音をたてながら拡がってゆく。

A……プロティナス……

……クレメンス……ベコン……プトマス……

……パトラスティック……

……スコラティック

教室は半分位まで詩で満ちていた。

幾度目かの欠伸を殺した後、ぼんやりと私は灰色の教授から目をそらした。周囲の学生達はいずれも机に前傾姿勢をとりペンを走らせている。

——奴等？一体どんな顔をしているんだろう？

私はふと変な好奇心を持ったのである。私は学生の群の最後尾にいた。

ますます、右側の一番前の席を見て驚いたのである。二番目を、急いで三番目を——。私は狼狽した。三人が三人共、眼鏡を掛けた三人が同じ機にのっぺらぼうなのである。眼も鼻も無い。鼻が無いのだ？ただ、のっぺらぼうの顔の下から三分の一位の所に小さな切れ目があってぱくぱくと機械的に開閉を行っているのである。私はぞっとしながらも見ずにはいられない。その動きに、唇の無い口なのだな、と思ってみたのである。

四人目を見た、右側の端の列の最後尾の奴である。眼鏡は掛けていない。のっぺりした顔にはぱくぱく動いている小さな切れ目だけなのである。私は思わず自分の鼻をおさえてみた。

——鼻が在る、眼が在る。私は自分の眼を、鼻を、口をはっきりと確認して、再び観察を続けた。いや、何か救いを求めるように続けざるを得なかったのである。

右の端から二列目。一番前は、小さな切れ目だけがぱくぱくしている。二番目は、三番目は——小さな切れ目の機械的な動きだけである。

三人共に眼鏡を掛けている。

第三列目——三番目も、二番目、三番目、四番目、五番目——五人の切れ目がぱくぱくしている。前傾姿勢のままでペンが走っている。ノートがみみるみる黒くなってゆく。

第四列目——この列に私は居た。いつぱしも前の奴等はその後頭部だけしか見ることが出来ない。私はこの列は後にして次に向った。

第五列、これを含めてあと二列だ。一番目、切れ目だけ、ペンが盛速に進んでいる。

第六列目。一番目、二番目、三番目、四番目、五番目、六番目——六列目は最後の教だったのだ。この六人がぱくぱく小さな切れ目を動かしていたのだ。

私は身体中をしぼって大声を発するところであったが、かろうじてこれを押さえると、身体中の毛穴から汗がとび出してゆく様が実によく解ったのである。

——どうしたらいいんだ/

私は何の理由もなくこう思った。が、すぐ自分の列をまだ見届していたのを思いだし、最後の望みをこれに託すことを、本能的に思っていた。

——そうだ、何とかしてもらうんだ……/

ただ、そう叫んでいるのだ。

一番前の奴、出来るだけ後に首を伸ばしてみる。——何も無い/小さな切れ目が機械的にはぱくぱく動いているだけだ。

私はいつか小さく震えていた。どうしようも無くただ震えが続いた。

残っているのは、私の前の机に居る男だけになった。

——こいつだけでも……こいつだけだっていいんだ……

私は眼をこわばらせて、震える指先で前の男の肩をたたいた。ただいたとというより、触れただけでこはばたたく効果があったことだっただろう。

男が振り向いた。

——無い、無い/

私は眼を閉じた。が、そのままでその男ののっぺらぼうの顔に浮んだけげんそうな表情を感じることが出来た。私は精一杯の力を出して眼を開けて、手で何でもなくことを彼に示した。彼は再び前傾姿勢に戻った。ぱくぱく動く小さな切れ目の機械的なしろからでもよく解った。

太粒を額につくっていた。脇が異様に圧まらない。掌には汗の粒がびっしりと浮いていた。

私は、まず教室をとび出すことを考えた。が、いや、思い違いかもしれない、疲れて眼が変になったのかもしれない。

開けた。

廊から端まで、一列にのっぺらぼうが、小さな切れ目を動かの中に跳びこんだ。

——あっ、いつが動いている/

私はまた自分の鼻に触れてみた。眼にも、唇にも触れてみた。在るのだ、——俺はのっぺらぼうではないんだ、怖がることはないんだ……

いや、まて……奴等にこの俺が知れたらどうなんだ？奴等と違うこの俺が奴等に知れたら……

得体の知れない不安が急に拡がっていった。気味の悪い感情が身体中を一時に走っていった。冷たい汗が一粒一粒噴き出してゆく。脇がたらり、ぶるっと震えはじめる。

——奴等に知られてはならないんだ、知られたらどうなる？そうだ真似ればいいかもしれない。……一位等、一生懸命で書き続けているかもしれない。

私はまっそく奴等の小さな切れ目の動きに自分の口を合わせてみた。その間閉に呼吸を合わせてみたのだ。

——遠い/私はたちまち苦しくなってしまう。脇の震えが増々大きくなってくる。

——駄目だ/何で遠いんだ。

……だが何の為にといって、やはり呼吸だと思うんだが、私はそっと周囲に眼をやり、再びぱくぱく運動に自分の呼吸運動を合わせてみた。が、たちまち呼吸困難になる。苦しくてやりきれなくなる。苦しくてやりきれなくなる。苦しくてやりきれなくな

応募作品の内訳

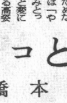
本社懸賞の懸賞小説募集に応募作総数は千三百余篇。応募作品は千三篇ほどあるが、今年度六・七月号、十月号、十二月号、次年度六・七月号の六回に分けて掲載する予定である。

京都大学 二十一 田尻大学 四・早稲田大学 五・東京学芸大 六・法政大学 七・日本大学 各二・東京工大、同芸大、東京大学 各一・名古屋大、東京外語大、一橋大、筑波大、岐阜大、福岡学芸大、宮崎学芸大、大阪大、中央大、一橋大、筑波大、岐阜大、福岡学芸大、宮崎学芸大、大阪大、中央大、慶大、立教大、立命館大、神戸大、お茶大、東京学芸大 各一。

入選 その時

白いネコと赤い月と

—橋本哲彦—



10歩を少し過ぎていたろうか、瞬間、されたような感じがした。私は思わずハッとしたのであるが、実はそれは、自分の眼の前に、白い猫が、ちょこんと坐ったのだ。

私はふと、変な感覚に襲われた。

——突然、行進を見守る顔の中に、私はその顔を見た。

その顔を私は、知る人ぞ知る、ある人物の顔だった。

——それは、ある人物の顔だった。

この呼び名は白いネコが前を横切り、急に胸のほうへ、そうしてこの時ふと、私はハッとして、急に胸のほうへ、そうしてこの時ふと、私はハッとして、急に胸のほうへ、そうしてこの時ふと、私はハッとして

書評

「非存在の表現」を追う
ひたすら文学的に

野村修

「歴史と弾根」
埴谷雄高

埴谷氏の五冊の長編小説の最後を飾るものとして刊行された本書は、既知から非存在を表現する文学、つまり現実の知の「不可能性の文学」には属さない。

「歴史と弾根」は、「死霊」の第一部、「闇市」の第二部、「闇の中の黒い顔」の第三部、「闇の中の黒い顔」の第四部、「闇の中の黒い顔」の第五部、「闇の中の黒い顔」の第六部、「闇の中の黒い顔」の第七部、「闇の中の黒い顔」の第八部、「闇の中の黒い顔」の第九部、「闇の中の黒い顔」の第十部、「闇の中の黒い顔」の第十一部、「闇の中の黒い顔」の第十二部、「闇の中の黒い顔」の第十三部、「闇の中の黒い顔」の第十四部、「闇の中の黒い顔」の第十五部、「闇の中の黒い顔」の第十六部、「闇の中の黒い顔」の第十七部、「闇の中の黒い顔」の第十八部、「闇の中の黒い顔」の第十九部、「闇の中の黒い顔」の第二十部、「闇の中の黒い顔」の第二十一部、「闇の中の黒い顔」の第二十二部、「闇の中の黒い顔」の第二十三部、「闇の中の黒い顔」の第二十四部、「闇の中の黒い顔」の第二十五部、「闇の中の黒い顔」の第二十六部、「闇の中の黒い顔」の第二十七部、「闇の中の黒い顔」の第二十八部、「闇の中の黒い顔」の第二十九部、「闇の中の黒い顔」の第三十部、「闇の中の黒い顔」の第三十一部、「闇の中の黒い顔」の第三十二部、「闇の中の黒い顔」の第三十三部、「闇の中の黒い顔」の第三十四部、「闇の中の黒い顔」の第三十五部、「闇の中の黒い顔」の第三十六部、「闇の中の黒い顔」の第三十七部、「闇の中の黒い顔」の第三十八部、「闇の中の黒い顔」の第三十九部、「闇の中の黒い顔」の第四十部、「闇の中の黒い顔」の第四十一部、「闇の中の黒い顔」の第四十二部、「闇の中の黒い顔」の第四十三部、「闇の中の黒い顔」の第四十四部、「闇の中の黒い顔」の第四十五部、「闇の中の黒い顔」の第四十六部、「闇の中の黒い顔」の第四十七部、「闇の中の黒い顔」の第四十八部、「闇の中の黒い顔」の第四十九部、「闇の中の黒い顔」の第五十部、「闇の中の黒い顔」の第五十一部、「闇の中の黒い顔」の第五十二部、「闇の中の黒い顔」の第五十三部、「闇の中の黒い顔」の第五十四部、「闇の中の黒い顔」の第五十五部、「闇の中の黒い顔」の第五十六部、「闇の中の黒い顔」の第五十七部、「闇の中の黒い顔」の第五十八部、「闇の中の黒い顔」の第五十九部、「闇の中の黒い顔」の第六十部、「闇の中の黒い顔」の第六十一部、「闇の中の黒い顔」の第六十二部、「闇の中の黒い顔」の第六十三部、「闇の中の黒い顔」の第六十四部、「闇の中の黒い顔」の第六十五部、「闇の中の黒い顔」の第六十六部、「闇の中の黒い顔」の第六十七部、「闇の中の黒い顔」の第六十八部、「闇の中の黒い顔」の第六十九部、「闇の中の黒い顔」の第七十部、「闇の中の黒い顔」の第七十一部、「闇の中の黒い顔」の第七十二部、「闇の中の黒い顔」の第七十三部、「闇の中の黒い顔」の第七十四部、「闇の中の黒い顔」の第七十五部、「闇の中の黒い顔」の第七十六部、「闇の中の黒い顔」の第七十七部、「闇の中の黒い顔」の第七十八部、「闇の中の黒い顔」の第七十九部、「闇の中の黒い顔」の第八十部、「闇の中の黒い顔」の第八十一部、「闇の中の黒い顔」の第八十二部、「闇の中の黒い顔」の第八十三部、「闇の中の黒い顔」の第八十四部、「闇の中の黒い顔」の第八十五部、「闇の中の黒い顔」の第八十六部、「闇の中の黒い顔」の第八十七部、「闇の中の黒い顔」の第八十八部、「闇の中の黒い顔」の第八十九部、「闇の中の黒い顔」の第九十部、「闇の中の黒い顔」の第九十一部、「闇の中の黒い顔」の第九十二部、「闇の中の黒い顔」の第九十三部、「闇の中の黒い顔」の第九十四部、「闇の中の黒い顔」の第九十五部、「闇の中の黒い顔」の第九十六部、「闇の中の黒い顔」の第九十七部、「闇の中の黒い顔」の第九十八部、「闇の中の黒い顔」の第九十九部、「闇の中の黒い顔」の第百部、「闇の中の黒い顔」の第百一部、「闇の中の黒い顔」の第百二部、「闇の中の黒い顔」の第百三部、「闇の中の黒い顔」の第百四部、「闇の中の黒い顔」の第百五部、「闇の中の黒い顔」の第百六部、「闇の中の黒い顔」の第百七部、「闇の中の黒い顔」の第百八部、「闇の中の黒い顔」の第百九部、「闇の中の黒い顔」の第百十部、「闇の中の黒い顔」の第百十一部、「闇の中の黒い顔」の第百十二部、「闇の中の黒い顔」の第百十三部、「闇の中の黒い顔」の第百十四部、「闇の中の黒い顔」の第百十五部、「闇の中の黒い顔」の第百十六部、「闇の中の黒い顔」の第百十七部、「闇の中の黒い顔」の第百十八部、「闇の中の黒い顔」の第百十九部、「闇の中の黒い顔」の第百二十部、「闇の中の黒い顔」の第百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第百三十部、「闇の中の黒い顔」の第百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第百四十部、「闇の中の黒い顔」の第百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第百五十部、「闇の中の黒い顔」の第百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第百六十部、「闇の中の黒い顔」の第百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第百七十部、「闇の中の黒い顔」の第百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第百八十部、「闇の中の黒い顔」の第百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第百九十部、「闇の中の黒い顔」の第百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百部、「闇の中の黒い顔」の第二百一部、「闇の中の黒い顔」の第二百二部、「闇の中の黒い顔」の第二百三部、「闇の中の黒い顔」の第二百四部、「闇の中の黒い顔」の第二百五部、「闇の中の黒い顔」の第二百六部、「闇の中の黒い顔」の第二百七部、「闇の中の黒い顔」の第二百八部、「闇の中の黒い顔」の第二百九部、「闇の中の黒い顔」の第二百十部、「闇の中の黒い顔」の第二百十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第二百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百部、「闇の中の黒い顔」の第三百一部、「闇の中の黒い顔」の第三百二部、「闇の中の黒い顔」の第三百三部、「闇の中の黒い顔」の第三百四部、「闇の中の黒い顔」の第三百五部、「闇の中の黒い顔」の第三百六部、「闇の中の黒い顔」の第三百七部、「闇の中の黒い顔」の第三百八部、「闇の中の黒い顔」の第三百九部、「闇の中の黒い顔」の第三百十部、「闇の中の黒い顔」の第三百十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第三百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百部、「闇の中の黒い顔」の第四百一部、「闇の中の黒い顔」の第四百二部、「闇の中の黒い顔」の第四百三部、「闇の中の黒い顔」の第四百四部、「闇の中の黒い顔」の第四百五部、「闇の中の黒い顔」の第四百六部、「闇の中の黒い顔」の第四百七部、「闇の中の黒い顔」の第四百八部、「闇の中の黒い顔」の第四百九部、「闇の中の黒い顔」の第四百十部、「闇の中の黒い顔」の第四百十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第四百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百部、「闇の中の黒い顔」の第五百一部、「闇の中の黒い顔」の第五百二部、「闇の中の黒い顔」の第五百三部、「闇の中の黒い顔」の第五百四部、「闇の中の黒い顔」の第五百五部、「闇の中の黒い顔」の第五百六部、「闇の中の黒い顔」の第五百七部、「闇の中の黒い顔」の第五百八部、「闇の中の黒い顔」の第五百九部、「闇の中の黒い顔」の第五百十部、「闇の中の黒い顔」の第五百十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第五百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百部、「闇の中の黒い顔」の第六百一部、「闇の中の黒い顔」の第六百二部、「闇の中の黒い顔」の第六百三部、「闇の中の黒い顔」の第六百四部、「闇の中の黒い顔」の第六百五部、「闇の中の黒い顔」の第六百六部、「闇の中の黒い顔」の第六百七部、「闇の中の黒い顔」の第六百八部、「闇の中の黒い顔」の第六百九部、「闇の中の黒い顔」の第六百十部、「闇の中の黒い顔」の第六百十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百八十九部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十一部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十二部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十三部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十四部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十五部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十六部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十七部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十八部、「闇の中の黒い顔」の第六百九十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百部、「闇の中の黒い顔」の第七百一部、「闇の中の黒い顔」の第七百二部、「闇の中の黒い顔」の第七百三部、「闇の中の黒い顔」の第七百四部、「闇の中の黒い顔」の第七百五部、「闇の中の黒い顔」の第七百六部、「闇の中の黒い顔」の第七百七部、「闇の中の黒い顔」の第七百八部、「闇の中の黒い顔」の第七百九部、「闇の中の黒い顔」の第七百十部、「闇の中の黒い顔」の第七百十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百二十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百三十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百四十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百五十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百六十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十一部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十二部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十三部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十四部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十五部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十六部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十七部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十八部、「闇の中の黒い顔」の第七百七十九部、「闇の中の黒い顔」の第七百八十部、「闇の中の黒い顔」の第七百八十一部、「闇の中の黒い